

## 音楽実技課題

### ■ 各専攻共通の注意事項

1. 音楽実技課題曲は、暗譜で演奏すること。ただし、管・打楽器専攻、および副科ピアノの課題曲は、楽譜を見て演奏してもよい。声楽専攻、邦楽器関係については各専攻の指示に従うこと。
2. 課題曲は、繰り返しをすべて省略して演奏すること。ただし、声楽専攻、長唄三味線専攻、長唄専攻、邦楽囃子専攻は除く。なお、場合により一部を省略させることがある。
3. 声楽専攻、およびヴァイオリン専攻の伴奏は、本校試験係員が行う。また、長唄三味線専攻の唄、および長唄専攻と邦楽囃子専攻の伴奏の地は、本校試験係員が行う。その他の専攻実技試験は「伴奏なし」で演奏すること。
4. 専攻の楽器（ピアノ、ハープ、箏、三絃、長唄三味線を除く）は、各自持参すること。
5. 弦楽器の各専攻のうち、ヴィオラ専攻志望者はヴァイオリンで、またコントラバス専攻志望者はチェロで受験することができる。

### ■ 邦楽器関係の各専攻

#### 1. 専攻実技

##### (イ) 箏曲専攻（山田流）

第1回 箏 <松上鶴>（山登萬和作曲）

・雲井調子

第2回 ①箏 自由曲（1曲）

②聴奏 箏の演奏を聴いて、それを箏で同じように奏する。

\* 三絃による聴奏は行わないので注意すること。

- (注) 1) 使用する楽譜の版は特に指定しない。ただし、暗譜で演奏すること。  
2) 箏は本校で用意したものを使用すること。（箏の絃はテトロン絃とする）  
3) 箏の調絃の基音は、試験係員が指示する。  
4) 箏の演奏は立奏とする。  
5) 爪（替爪を含む）は各自持参すること。これ以外の持ち込みは禁止。  
6) 服装は自由。

##### (ロ) 箏曲専攻（生田流）

第1回 箏 <春の曲>（吉沢検校作曲）

・古今調子（基音は「壺越」で調絃する）

第2回 ①箏 自由曲（1曲）

②聴奏 三絃の演奏を聴いて、それを三絃で同じように奏する。

- (注) 1) 使用する楽譜の版は特に指定しない。ただし、暗譜で演奏すること。  
2) 箏と三絃は、本校で用意したものを使用すること。（箏の絃はテトロン絃とする）  
3) 箏と三絃の調絃の基音は、試験係員が指示する。  
4) 箏の演奏は立奏とし、三絃は座奏とする。  
5) 撥（材質は問わない）、指かけ（指すり）、ひざゴム、爪（替爪を含む）は各自持参すること。これ以外の持ち込みは禁止。（駒は、本校で用意したものを使用する）  
6) 服装は自由。

(ハ) 尺八専攻 (琴古流, 都山流)

第1回 <六段の調> (八橋検校作曲)  
<千鳥の曲> (吉沢検校作曲)  
<黒髪> (恋出市十郎作曲)  
以上, 3曲の中から1曲を選ぶこと。

第2回 ①自由曲 (1曲)  
②楽器 (尺八) に関する質問を行う。  
③聴奏は行わない。

- (注) 1) 使用する楽譜の版は特に指定しない。ただし, 暗譜で演奏すること。  
2) 尺八は, 各自持参したもの (五孔の竹製の尺八, 原則として一尺八寸管) を使用すること。  
3) 尺八の演奏は, 椅子に座って行う。  
4) 服装は自由。

(ニ) 長唄三味線専攻

第1回 <鶴亀> (十世 杵屋六左衛門作曲)  
<小鍛冶> (二世 杵屋勝五郎作曲)  
<供奴> (四世 杵屋三郎助作曲)  
<五郎時致> (十世 杵屋六左衛門作曲)  
<鞍馬山> (二世 杵屋勝三郎作曲)  
以上, 5曲の中から1曲を選ぶこと。

第2回 ①自由曲 (1曲)  
第1回の課題曲の中より選んでもよい。ただし, 第1回で演奏した曲を除く。  
②調絃  
試験係員によって示す音を基音として, 指定された調子に合わせる。  
③聴奏は行わない。

- (注) 1) 使用する楽譜の版は特に指定しない。譜面使用可。  
2) 演奏は座奏とする。  
3) 三味線は, 本校で用意したものを使用すること。  
4) 唄は, 試験係員が担当する。  
5) 撥 (材質は問わない), 指かけ, ひざゴム等は各自持参すること。  
6) 服装は自由。

(ホ) 長唄専攻

第1回 <鶴亀> (十世 杵屋六左衛門作曲)  
<小鍛冶> (二世 杵屋勝五郎作曲)  
<供奴> (四世 杵屋三郎助作曲)  
<五郎時致> (十世 杵屋六左衛門作曲)  
<鞍馬山> (二世 杵屋勝三郎作曲)  
以上, 5曲の中から1曲を選ぶこと。

第2回 ①自由曲 (1曲)  
第1回の課題曲の中より選んでもよい。ただし, 第1回で演奏した曲を除く。  
②調絃  
試験係員によって示す音を基音として, 指定された調子に合わせる。  
③聴奏は行わない。

- (注) 1) 使用する楽譜の版は特に指定しない。譜面使用可。  
2) 演奏は座奏とする。  
3) 見台は本校で用意するが, 扇は各自持参すること。  
4) 三味線は, 試験係員が担当する。  
5) 服装は自由。

(へ) 邦楽囃子専攻 (小鼓, 大鼓, 太鼓)

- 第1回 長唄<供奴> (四世 杵屋三郎助作曲)  
長唄<末広狩> (十世 杵屋六左衛門作曲)  
長唄<五郎時致> (十世 杵屋六左衛門作曲)  
長唄<小鍛冶> (二世 杵屋勝五郎作曲)  
長唄<越後獅子> (九世 杵屋六左衛門作曲)

以上, 5曲の中から1曲を選ぶこと。

第2回 ①自由曲 (1曲)

第1回の課題曲の中より選んでもよい。ただし, 第1回で演奏した曲を除く。

- ②聴奏は行わない。  
③調絃は行わない。

- (注) 1) 演奏は座奏とし, 暗譜で行うこと。  
2) 各専攻の楽器は, 各自持参したものを使用すること。  
3) 伴奏の地は, 試験係員が担当する。  
4) 服装は自由。

(ト) 邦楽囃子専攻 (笛)

- 第1回 長唄<五郎時致> (十世 杵屋六左衛門作曲)  
長唄<雛鶴三番叟>  
長唄<黒髪> (初世 杵屋佐吉作曲)  
長唄<鶴亀> (十世 杵屋六左衛門作曲)  
長唄<娘道成寺> (初世 杵屋弥三郎作曲)

(注: 全曲竹笛部分のみとする)

以上, 5曲の中から1曲を選ぶこと。

第2回 ①自由曲 (1曲)

第1回の課題曲の中より選んでもよい。ただし, 第1回で演奏した曲を除く。

- ②聴奏は行わない。  
③調絃は行わない。

- (注) 1) 演奏は座奏とし, 暗譜で行うこと。  
2) 楽器は, 4本から8本までの調子の竹笛を持参すること。(竹笛の調子は当日指定する)  
3) 伴奏の地は, 試験係員が担当する。  
4) 服装は自由。

2. 副科ピアノ 試験は行わない。